

日本災害情報学会 第2回研究発表大会

11月30日、12月1日に開催

◆参加申込と研究発表テーマは10月2日！研究発表論稿10月末まで

◆ ニュースレター3号でご案内のように、日本災害情報学会は第2回研究発表大会を11月30日、12月1日の2日間、埼玉県大宮市で開催します。昨年と同様に日本自然災害学会と合同開催となります。大会参加や研究発表の申込を下記の要領で受け付けます。会員多数の参加と研究発表の申込を期待しています。

1. 期 日：2000年11月30日（木）、12月1日（金） 9時～17時

2. 場 所：大宮ソニック市民ホール（大宮ソニックシティビル 4階）

〒331-8669 大宮市桜木町1-7-5 TEL：048-647-4111 ※大宮駅西口から徒歩約5分

3. 日 程：11月30日（木） 午前・研究発表 午後・総会、フォーラム

12月1日（金） 午前・研究発表 午後・ワークショップ

4. 参加申込締切：10月2日（本ニュースレター添付の用紙にて申込下さい）

5. 研究発表テーマ申込締切：10月2日（本ニュースレター添付の用紙にて申込下さい）

6. 研究発表論文の提出締切：10月30日

7. 論文形式と提出方法：論文の形式は、A4版で横書きで文字の大きさは、10.5ポを標準とします。第1ページは論文題目を第1行の9コマ 目から書き出し、1行空けて勤務先、筆者名を右側に寄せて書き、1行空けて本文を書き出してください。

：提出方法は、原則としてMOまたはFDをお願いします。

8. テーマ申込、論文の提出先：〒103-8430 東京都中央区日本橋本町4-9-11

建設技術研究所 情報技術本部情報企画部内
日本災害情報学会東京支部 松尾、門田 TEL：03-3668-0451

9. 予稿集：1,000円（郵送の場合は+郵送料）

10. 参加費：学会員／1,000円、非学会員／3,000円（当日会場にて）

11. 懇親会：11月30日（木）17時～19時、大宮ソニックシティビル内 大宮ソニック市民ホール（予定）

※大会参加者は各自で宿泊の手配をして下さい。

第19回日本自然災害学会学術講演会も11月30日、12月1日の両日、並行開催されます。なお、日本自然災害学会学術講演会に引き続き翌12月2日（土）9時～17時、第37回自然災害科学総合シンポジウム（自然災害科学総合研究班、京都大学防災研究所主催）およびオープンフォーラム「首都圏の防災対策の現状と課題—地震防災を中心として」（自然災害学会主催、自然災害総合研究班、埼玉大学・京都大学防災研究所共催）が開催されます。多数ご参加くださいますようご案内致します。

▼第2回研究発表大会に向けて

日本災害情報学会会長（東京大学社会情報研究所長）廣井 脩 第2回災害情報学会研究発表大会が、11月30日、12月1日の両日、埼玉県大宮市で開かれる。仙台市で開催した第1回大会では、事務局の予想をはるかに越える発表申し込みがあって時間割の調整に苦労したし、また直前に発生した茨城県東海村のJCO臨界事故についての特別シンポジウムを行うなど、非常に盛況だった。あれからほぼ1年。3月末には有珠山が、6月末には三宅島が噴火した。どちらの場合も、噴火前に緊急火山情報が発表され、住民の避難も円滑に行われたが、その後の問題は山積している。しだいに数は少なくなっているものの、有珠山の避難生活は長期化して、地域経済や被災者の家計を圧迫している。

また、ほぼ30年周期で発生する次の噴火に備えて、防災的観点を加味した復興まちづくりのプランにもそろそろ着手しなければならない。一方、三宅島噴火は最初の噴火の安全宣言はすみやかに出されたものの、8月18日の山頂噴火から事態は一変し、火砕流の発生をふくめて今後の火山活動の見通しはまったくたない状況になり、ついに全島避難という異常事態に発展した。それに加えて、7月から続いている新島・神津島の群発地震もマグニチュード4以上の地震が5000回を越える今世紀最大級になり、東海地震との関連も心配されている。まさに災害列島・日本であるが、このような状況において本学会の果たす役割はきわめて大きい。第2回大会では、多くの参加者を得て、活発な議論が展開されることを期待している。

▼第5回国際企業防災シンポジウムに日本から廣井教授ら20数名が参加

日米をはじめアジアなど各国から企業、行政関係者や防災研究者が参加して、企業防災のあり方を話し合う「第5回国際企業防災シンポジウム」が、11月7日から3日間の日程で米国カリフォルニア州立大学サンノゼ校において開催されます。「国際企業防災シンポジウム」は1991年から原則として隔年で開催し、会場は日米両国が交互に担当しています。米国で開催される第5回の今年、日本からは日本側シンポジウム実行委員会委員長の廣井脩東京大学社会情報研究所教授をはじめ20数名が参加します。

▼日本災害情報学会主催のシンポジウムについて

このところ有珠山、三宅島等火山・地震災害が続いています。学会では、これらの災害に対応されている研究者や防災担当者による長時間シンポジウムを企画しました。参加費は無料です。振るってご参加ください。

長時間シンポジウム2000 その1 「有珠山、三宅・神津・新島の活動と災害情報—その時、我々はどう動いたか—」

主 催：日本災害情報学会、（社）日本損害保険協会 後 援：自治省消防庁、国土庁、気象庁、東京都（全て予定）

日 時：2000年10月10日（火）9時～17時

場 所：経団連ホール（12階）

定員：470名 参加費：学会員は、無料。非学会員は、2000円。

プログラム（午前）

基調講演

「有珠山、三宅島の活動と火山噴火予知連絡会の対応」

東京大学地震研究所教授 井田喜明氏（火山噴火予知連会長）

「三宅島、神津島、新島の活動と地震調査委員会の対応」東京大学地震研究所教授 阿部勝征氏

「火山、地震活動と危機管理」内閣危機管理室審議官 関 克己氏

「有珠山、噴火に対する地元の対応」地元行政機関 未定 プログラム（午後）

パネルディスカッション「火山活動と災害状況」

【第Ⅰ部】

コーディネーター 東京大学社会情報研究所教授 廣井 脩氏

パネリスト 東京大学地震研究所教授 井田喜明氏、内閣危機管理室審議官 関 克己氏
気象庁地震情報企画官 西出武則氏、国土庁震災対策課長 布村明彦氏
日本テレビ報道局デスク 谷原憲一氏

【第Ⅱ部】

コーディネーター 東京大学社会情報研究所教授 廣井 脩氏

パネリスト 東京大学地震研究所教授 阿部勝征氏、自治省消防庁震災対策指導室長 向田正博氏、気象庁防災企画調査官 横田 崇氏、元静岡放送報道局長 川端信正氏

問い合わせ先および申し込み先：社団法人日本損害保険協会安全防災部 担当斎藤 03-3255-1217
建設技術研究所 情報企画部内 日本災害情報学会東京支部 担当
門田 03-3668-0451

学会では、活動の一環として引き続き災害情報をテーマとした長時間シンポジウムを企画しています。次回ニュースレターでご案内申し上げます。

▼ 関連学会との共催 第15回「大学と科学」公開シンポジウム ---ここまで分かった都市直下地震---

◆ 主催：第15回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会 日本災害情報学会後援

◆ 日時 : 平成 12 年 11 月 1 日～2 日

◆ 場所 : 東京・有楽町／朝日ホール

◆ 参加費 : 無料

◆ 申込・問合せ : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-16-7 ビュア虎ノ門 3F (株)アトスリー内
『都市直下地震』事務局 TEL03-3459-0006 FAX03-3459-6894

◆ プログラム

第 1 日 : 平成 12 年 11 月 1 日 (水) 10:00～17:30

テーマ その時どうするべきか

第 2 日 : 平成 12 年 11 月 2 日 (木) 10:00～17:15

テーマ 都市はどのくらい強いのか 風災害フォーラム「強風災害の変遷と教訓—21 世紀を前に—」

◆ 主催 : 日本風工学会 日本災害情報学会共催

◆ 日時 : 平成 12 年 11 月 6 日

◆ 場所 : 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

◆ 参加費 : 3000 円

◆ 申込・問合せ : 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14 日本大学理工学部土木工学科

日本風工学会風災害研究会 幹事 野村卓史 TEL03-3259-0411

◆ 開催要旨 : 本フォーラムでは、日本風工学会で行っている風災害に関する調査研究活動の成果を、学会員のみならず一般市民を含めて広く公開し、意見交換および情報交換を行うことによって 21 世紀における 風災害低減対策を探っていこうというものです。

.....

〈事務局だより〉

このたび事務局の東京支部を開設しました。すでに学会員も 350 名、賛助会員も 21 団体に達しニューズレターの発行や関連学会との事務連絡、各種催しに関する諸作業など多くの業務を抱えております。このことから学会事務局の支部を開設し事務局機能の強化を図ります。新たな東京支部は、学会設立当初に事務局代行をお願いした(株)建設技術研究所にご協力をいただき、同事務所内に設置しました。日本災害情報学会 東京支部 担当 松尾、門田 (株)建設技術研究所 情報技術本部情報企画部内 TEL03-3668-0451 内線 5019 FAX03-3663-3895 〒103-8430 東京都中央区日本橋本町 4-9-11 第 9 中央ビル 学会活動の問い合わせ等は、東京支部まで。

..... <
平成 12 年度学会費の納入のお願い> 平成 12 年度会費の納入をお願いします。学会の銀行口座は、下

記の銀行にあります。(1) 静岡銀行新通支店 普通 0421138 日本災害情報学会 (2) 三和銀行室町支店 普通 3910007 日本災害情報学会

.....

<ニュースレター編集後記>

▼ 本号は、川端氏・中村氏の協力を仰いで東京支部で作成しました。わずか4ページですが、大変なこと、川端事務局長のこれまでのご努力にひたすら頭が下がる思いです。

▼ これから総会、研究発表大会、長時間シンポジウムと学会イベントが続きます。会長のお話では、来年にかけて主要都市で会員向けのシンポジウムを開催していくとのこと、第5号には詳細が紹介できると思います。

▼ 有珠山、三宅島、駒ヶ岳と続いています。これらの災害対応にあたられている防災担当者、研究者の皆様方本当にご苦労様です。

▼ ご案内しましたよう研究発表大会や長時間シンポジウムには、会員の方々や興味のある方などの参加を期待しております。なお第5号は、大会概要や発表内容などの詳細を考えております。

(I M)